

癌化学療法処方

プロトコール名 胃癌ラムシルマブ・パクリタキセル併用療法（1クール28日）
 (下に実際の投与方法を記載)

投与日	薬品名	投与経路	投与時間
d1, d15	① デキサート注射液13.2mg+ファモチジン注20mg+生理食塩液50mL 点滴開始と同時にレスタミン錠10mgを5錠内服	div	10分
	② 生理食塩液100mL	div	30分
	③ サイラムザ点滴静注液 8mg/kg +生理食塩液250mL 0.22 μ mのフィルターを用いて投与する。 調製後13時間以内に投与終了。 希釈後の濃度は0.4~4mg/mLとする。 2回目以降は30分に短縮可能。	div	60分
	④ 生理食塩液50mL(フラッシュ用)	div	5分
	⑤ パクリタキセル注射液80mg/m ² + 5%ブドウ糖液250mL インラインフィルターを用いて投与する。	div	60分
	⑥ 生理食塩液50mL(フラッシュ用)	div	5分
d8	① デキサート注射液13.2mg+ファモチジン注20mg+生理食塩液50mL 点滴開始と同時にレスタミン錠10mgを5錠内服	div	10分
	② 生理食塩液100mL	div	30分
	③ パクリタキセル注射液80mg/m ² + 5%ブドウ糖液250mL インラインフィルターを用いて投与する	div	60分
	④ 生食 50mL(フラッシュ用)	div	5分
d1, d8, d15	レスタミンコーワ錠 50mg	p.o	-

プロトコール適応時表示コメント

Rp.1の生食点滴開始と同時にレスタミン錠10mg 5錠内服。

サイラムザ:グレード3または4のinfusion reactionが現れた場合には本剤の投与を直ちに中止し、再投与しないこと。グレード1または2のinfusion reactionがあらわれた場合には、投与速度を50%減速し、その後の全ての投与においても減速した投与速度で投与すること。

照射併用時照射線量

グレイ (備考欄: